

2018年9月13日掲載 カーゴニュース

第一貨物 保冷輸送サービスを開始

第一貨物

保冷ボックス活用、冷凍・冷蔵にも対応

第一貨物（本社・山形市、武藤幸規社長）はこのほど、保冷

輸送サービスを開始した。保冷ボックスと蓄冷材を使って温度管理するもので、翌々日配達の長距離輸送にも対応する。多様な輸送ニーズに対応することで、新たな顧客層の開拓を図

る。

保冷ボックスは小型とT11型パレットに対応したパレット用ボックスの2種類を用意。パレット用ボックスでは複数アイテムの商品を積み合わせることが可能で、伝票作成や荷札貼付けなどの時間短縮を図ることが可

能。また、保冷ボックスは一般貨物車両への積み合わせが可能で、合理的なコールドチェーン輸送が実現する。

さらに、多様な温度帯に対応した蓄冷材を用意しており、GDP基準に対応した2～8℃、冷凍（マイナス20～0℃）、冷蔵（0～10℃）での温度管理サービスを提供できる。保冷時間も翌々日の輸送にも対応可能なため、長距離輸送にも利用することができる。

